

きみの地域づくり学校 校長

【座学編】【実践編】を通じて、活力ある農山村を支える「関係人口（地域課題解決に寄り添う若者・よそ者）」の創出や将来の「還流人口（故郷への誇り・愛着を有するUターン者）」の育成を産官学地域が一体となって支援します。皆さん、壮大な社会実験と一緒に参加しませんか。

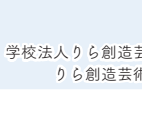


藤田 武弘

追手門学院大学教授
和歌山大学名誉教授

運営協議会 会長

「これからの地域をどのようにデザインするのか？」先駆者である地域の事業者、有識者や行政等の方々がサポーターとなり起業を目指す人たちを座学とインターンシップで支援する「きみの地域づくり学校」は、3年目を迎えます。多くの方々のご参加をお待ちしています。



山上 範子

学校法人りら創造芸術学園 理事長
りら創造芸術高等学校 校長

紀美野町長

紀美野町はこれまでたくさんの移住者を迎え、独自性のある起業事例が多数生まれています。そうした紀美野町をフィールドにして「きみの地域づくり学校」では自分のやりたいことや未来について真剣に学ぶことができ、多くの方との繋がりができます。移住や創業を考えられる皆さんにエールを送ります。



小川 裕康

修了生の声



阪田 拓哉

第1期生
学校法人智辯学園
和歌山小学校 教諭

入学前とは違う自分があります。地域づくり学校では、地域創生における様々な理論と実践を学ぶことができました。卒業後、学校で出会えた方々とつながり、これまでの職を続けながら、自分にできることで地域づくりに関わる日々は、無限の可能性で溢れています。



問山 美海

第1期生
田辺市地域おこし協力隊
（受講時は大学生）

講義では、理論について学んだ後に現場で活躍する方の話を伺うことができるので、実際に活動に知識を活かすイメージを持ちやすかったです。地域づくりに取り組む先輩や勉学に励む他の学生たちとの交流の機会にもなり、毎回良い刺激をもらっていました。



【年間】Schedule

令和7(2025)年						令和8(2026)年					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申込受付	開講式				レポート提出			レポート提出		修了式	
座学① 5/24	座学② 6/28	座学③ 7/26	座学④ 8/30	座学⑤ 9/27	インターンシップ						

※インターンシップへの参加要件…座学編に6割以上出席
※修了者へは修了証書を授与（修了要件をご確認ください）

募集要項

募集人数 20名程度 ※その他、学生の募集を受け付けます。

受講料 55,000円（座学＋インターンシップ）

座学編	1コマ	5,000円
のみ受講	1日（3コマ）	12,000円

- ・紀美野町民半額
- ・家族で受講（2人目以降）半額
- ・学生無料

修了要件 【座学編】6割以上の出席ならびに座学編レポートの提出
【実践編】座学編の修了ならびに実践編レポートの提出

会場 紀美野町 総合福祉センター
〒640-1121 和歌山県海草郡紀美野町下佐々 1408-4
〈公共交通機関〉JR海南駅より大十オレンジバス乗車「くすのき公園西」より徒歩約15分
〈自動車〉大阪方面：阪和自動車道海南東ICより約20分
白浜方面：海南ICより約25分

申込方法 右の二次元コードを読み取り、お申込みください。
※PC等から検索してお申込みも可能です。

申込期間
令和7年
4/1～5/8



きみの地域づくり学校運営協議会

きみの地域づくり学校 検索

〒640-1243 和歌山県海草郡紀美野町神野市場 226-1
紀美野町役場美里支所 まちづくり課内

TEL 073-495-3462 / FAX 073-495-3334

MAIL support@kimino-cds.org

担当：山本・中谷・藤井

〈主催〉きみの地域づくり学校運営協議会 〈共催〉紀美野町 和歌山大学食農総合研究教育センター 〈後援〉和歌山県

令和7年度

きみの

地域づくり

学校

Learn about

business start up

in rural areas

農山村での暮らしや仕事〈創業・継業〉の価値を若者に伝え、活力ある地域づくりや、関係人口、将来の還流人口（Uターン）の創出を目指す、人材育成のしくみです。農山村でのなりわいづくりについて、【座学】と【実践（インターンシップ）】の2部から学べます。

みさと天文台と星空

[座学編]Schedule

大学等の有識者や先輩事業者・地元事業者から学ぶ講座

全 15 講（1 日 3 コマ × 5 回）

new

1 コマから受講が可能になりました

参加自由

講義後、各回交流会あり / 2 回程度のフィールドワーク

1

5/24(土)

都市農村交流と関係人口

藤田 武弘

追手門学院大学教授
和歌山大学名誉教授



付度（そんたく）しない「よそ者・若者」の目線こそが地域のイノベーションには不可欠です。日常のなかに埋もれた地域の価値を一緒に掘り起こしましょう！

12:00～12:30
開講式

2

6/28(土)

食産業の新たな可能性と起業

尾藤 環

(株)辻調理教育研究所
教育事業部 担当部長



今、国際社会はグリーン社会へと大きく舵を切っています。グリーン社会では、日本や地域の産業、そして職業はどのように変化していくのか？みなさんと一緒に考えたいと思います。

3

7/26(土)

地域資源を活用した農業の新たな展開

岸上 光克

和歌山大学教授



皆さんも実感していると思いますが、豊かな食を支える農業、その食料供給とともに多面的機能を有する農村は危機的状況にあります。また、農業や農村を取り巻く環境も大きく変化しています。これからの農業・農村のあり方を一緒に考えましょう。

4

8/30(土)

地域づくりに必要な人材育成

木村 則夫

(株)秋津野
代表取締役社長



地域資源を活かしながら、住民主体の持続的な地域づくりを実践している田辺市上秋津地区を紹介。秋津野が昭和 30 年代からいくつかの地域づくりの組織や法人を起ち上げながらコミュニティビジネスに至った経緯を学んでもらいます。

5

9/27(土)

関係人口と農村移住

尾上 泰江

きみのたから
焙煎体験カフェきたの



1 年前に紀美野町に移住して、今年から山の中でカフェを始めました。紀美野町に来てからはやりたいことばかりやっています。どうしたらそんなふうに生きられるのか？移住前、現在進行形のカフェ起業、そして、この先の夢についてお話しします。

6

10/4(土)

関係人口と農村移住

岡 京子

(公財)わかやま産業振興財団
地域課題解決型起業
支援チーム マネージャー



私はビジネスへの助言が専門の中小企業診断士ですが、ビジネスを通してそれぞれが自己実現し、夢が叶い、その結果、暮らしよい地域になることが「幸せ」だと実感しています。紀美野、そして、みなさんの強みを活かすビジネスの実践を一緒に考えませんか？

7

10/11(土)

関係人口と農村移住

南 秀和

南果樹園 園主



4ha の露地栽培で周年出荷の果樹農業を行っています。果樹は 15 年位前から計画的に改植した若木ばかりで、収穫時にだけ半日雇用をして回しています。「無理をしないでなまけない」農業で自分と妻に優しい素晴らしい紀美野町の果樹農業を目指しています。

8

11/1(土)

関係人口と農村移住

牧野 光朗

追手門学院大学教授
前長野県飯田市長



- きみのを学び、きみにの愛着を持った若者は、高校を卒業してもきみのとの関係を持ち続け、子育て世代になる頃には、自分の子どもはきみので育てたいと考えてきみのに戻り、きみのを担う人材となる - 目指すはこれ。

9

11/8(土)

関係人口と農村移住

日下 もえぎ

(株)バソナグループ
NATUREVERSE 総本部
ゼネラルディレクター



新たな地域創生モデルとして、人材活用とマーケット創出を通じた持続発展可能な地域づくりを目指し、構造的な社会問題を解決する仕組みを発展させていく真のリーダーが必要です。紀美野町を真のリーダーを育成・輩出し続けられるというブランドにしましょう。

10

11/15(土)

関係人口と農村移住

佐々木 彰央

アンフィ合同会社 代表



当社は 2018 年に紀美野町で創業した 3D 技術を活かした博物模型専門会社です。DX 化が進む現在だからこそできる地方と世界を繋ぐ仕事内容と、当社の専門性を活かした CSR 活動とそれに伴って実施している他機関・団体との連携を紹介しします。

11

11/22(土)

関係人口と農村移住

田園回帰時代の農山村再生

図司 直也

法政大学教授



農山村の地域社会が変化してきた背景を理解し、個人と地域を、また暮らしと仕事をつなぐ「なりわい」に着目して、先発的な地域づくりの取り組みを読み解きながら、田園回帰時代の農山村再生のあり方を考えます。

12

11/29(土)

関係人口と農村移住

農村移住の推進と関係人口

阪井 加寿子

和歌山大学特任教員



最近では、全国的に移住推進や関係人口創出の事業が行われ、田園回帰の動きは若い世代にも広がっています。人の動きに視点をおいて、これまでの取り組みを振り返り、持続可能な「地域づくり」を考えます。

13

12/6(土)

関係人口と農村移住

農山村移住と複業

中野 卓

Kimino-Labo 代表



少子・高齢化、人口減少など多くの課題がある紀美野町において、これからの仕事の仕方や暮らし方について、考えながら試行を繰り返している実践記をご紹介します。皆さんの参考になれば幸いです。

[実践編]Mentor

実践者をメンターとした現場でのインターンシップ 6～9 回程度

宿泊業

- ・美里の湯 かじか荘
- ・たまゆらの里
- ・風の古民家「うえみなみ」
- ・Cafe & Guest House きみの さいか亭

飲食業

- ・くらとくり（食堂&カフェ）
- ・ベーカリーテラス ドーシェル（パン&カフェ）
- ・きこりのピザ屋 SOMAUD- ソマウド -（ピザ&カフェ）
- ・Cafe&Guest House きみの さいか亭（和カフェ）
- ・キミノーカ（ジェラート） ※内容は要相談

農業・林業・6 次産業

- ・小川地域棚田振興協議会（米）
- ・きみのフルーツ（柑橘）
- ・(株)上中林業
- ・和花菜農園（米・もち米・野菜等 無施肥無農薬栽培）
- ・向ファーム（緑花木生産）
- ・みさとみらいファーム（栗・梅）
- ・秋津野ガルテン【田辺市】
- ・農業生産法人(株)Citrus- シトラス - 【有田川町】
- ・紀州柑橘 善兵衛農園【湯浅町】

製造業

- ・アンフィ合同会社（博物模型専門製造）
- ・棕櫚箒製作舎 ※説明のみ

地域資源活用

- ・毛原オートキャンプ場
- ・Katakoto Crafts（古民家リノベーション）

メンターの声



水島 千絵
Cafe & Guest House
きみの さいか亭 代表

さいか亭では、2023,24 年に 1 名ずつ受講生を受け入れました。和菓子 / 弁当の仕込み、宴会の準備～配膳、宿泊の準備等と一緒に行いました。お話をしながらの作業が楽しく、私も刺激を受けています。このインターン経験が将来の参考になれば嬉しいです。



南出 典子
風の古民家
「うえみなみ」代表

「うえみなみ」では 1 名インターンシップ生を受け入れました。お客様企画のワークショップの参加や手伝い、お帰りの片付けもお願いしました。お客様とのコミュニケーションを通じて宿の魅力もヒアリング。体験をビジネスにすることも一緒に考えてくれました。

特徴

- ・会社員や地元住民、地域おこし協力隊、行政職員、大学生、地元高校生など多世代、異業種が集う「学びの場」です。
- ・地域、行政、大学が一体となった産官学連携のプログラムです。





フィールド

紀美野町（和歌山県海草郡）

早くから移住定住政策を手掛け、住民主体の「地域づくり」や移住・創業支援など様々な取り組みを意欲的に行っています。また、移住者等が特色ある事業を起こすなど新たに生まれた「場」が交流拠点となり、次の移住者や関係人口の創出につながっています。

